

心に残る文化財子ども塾 川本町立川本小学校

1. 活動の概要

6月16日(火)、川本町立川本小学校に伺いました。はじめに、島根の歴史文化にふれてもらうため、荒神谷遺跡の銅剣と加茂岩倉遺跡の銅鐸のレプリカを見せながら青銅器の話をしました。その後、「奈良の大仏の巨大さと、込められた思い」をテーマに、奈良の大仏の実物大パネルを組み立てました。大仏パネルが完成したらみんなで記念撮影を行い、最後に大仏造営当時の様子を、クイズを交えて説明しました。

2. 活動の様子



▲床一面に散らばったパネルを並べていきます。チームワークが肝心。



▲完成したら、大仏を間近で観察したり、寝そべったりして大きさを実感します。

3. 活動を終えて

① 児童の皆さんから

- ・島根県はお宝がたくさん出ているので、私も見つけてみたくなりました。
- ・青銅器以外にも島根県で出てきたものを見たいです。
- ・イメージしていた大きさより大きくてびっくりしました。
- ・大仏の手の向きや、頭の部分の意味を知ることが出来、うれしかったし、意味があるなんてびっくりした。
- ・教科書に書いていないことが分かったし、大仏がすぐ完成したのが嬉しかったです。

② 担任の先生から

- ・学習の流れがスムーズで、ねらいに迫る分かりやすい内容でした。
- ・自分と比較して実際の大きさを知ることが出来た。

③ 古代出雲歴史博物館から

大仏の大きさを目の当たりにして、驚きの声があちこちで上がりました。なお、小学校の公開授業にあわせて行われたため、保護者の方にも見ていただきました。保護者の方からも、「勉強になった」、「本物を見せてあげたい」などの感想をいただきました。